

平成27年度事業（4月～8月）にかかる目標設定とアウトカム（成果）について []は「25、26年度目標数」又は「25、26年度末実績」

		情報発信	コミュニティ形成・連結	プロジェクト創出	プロジェクトのショーケース
アウトプット (事業量)	目標・事業計画	情報発信 100件 [100、100]	① イノベーション人材のコミュニティ形成 88回 [88、88] 学生、VC、起業家、支援機関、企業対象としたイノベーション人材のコミュニティ形成のためのセミナー等 ② 海外ワークショップ（学生、起業家） 2回 [2、2]	① ニーズ顕在化プログラム 20回 [20、20] ② ハッカソン（ものアプリ、ソフト系） 6回 [6、6] ③ 公開型イベント（オープンイノベーションマッチング、投資家・起業家マッチング） 6回 [6、6] ④ 非公開型イベント（事業開発研究会） 12回 [12、12]	● 国際イノベーション会議開催 参加者：650人以上 [200人以上、400人以上] ● プロジェクトのプロモーション機会創出 国際会議 1回 [1、1]
	実績	● イベント告知 日本語 89本、英語 2本 ● イベントレポート 日本語 5本、英語 3本 ● 起業家紹介等 日本語 20本、英語 2本 ● ニュース 日本語 16本、英語 13本 ● HP新コンテンツ 日本語 6本 ● FB投稿 日本語 83本、英語 13本 ● メルマガ 10本、DM23本、プレスリリース 1件 計 286 [736、736]	① イノベーション人材のコミュニティ形成 45回 [141、121] ② シリコンパレーツアー 2回 [2、2] 平成28年2月22日～2月27日実施予定 イベント参加者数 4,218人 [8,293、9,716] (別途、拠点来場者 1,378人 [3,352、3,671]) ※合計 5,596人 [11,645、13,387]	① 6回（アイデアソン等） [21、21] ② 4回（今後、ものアプリハッカソン等） [8、22] ③ 18回（イノベーションエキスポ、ピッチイベント等） [6、10] ④ 6回（メンタリングサポート等） [12、13]	国際イノベーション会議「Hack Osaka 2016」を平成28年2月17日(水)に開催予定
アウトカム (成果)	目標・達成水準	国内外のメディアに取り上げられる <u>定量的指標</u> （開設からの累計） ① HPのユーザー数 100,000 [30,000、60,000] ② FBの「いいね」数 4,000 [2,000、3,000] ③ メルマガ登録者数 10,000 [3,000、5,000] <u>定性的指標</u> ● メディア掲載数及びメディアによる評価	起業・イノベーション創出を担う人材を輩出する多様なコミュニティの活動が活性化している <u>定量的指標</u> （開設からの累計） ① 会員制度（Osaka Hackers Club）登録者数 600 [200、400] ② Osaka Hackers Club 会員（プレイヤー・パートナー）が持つ情報発信対象者数 9,000 [3,000、6,000] <u>定性的指標</u> ● コミュニティの形成が促進されている ● 多様なコミュニティが参画している ● グローバルネットワークが形成されている	イノベーション創出に資するプロジェクトが具体化している <u>定量的指標</u> ① 事業化プロジェクト創出支援件数 50件 [20、30] <u>（事業化定義）</u> ● 守秘義務、共同研究等契約関係、ソフトフェア等における試作版の公開、資金調達に向けた具体的なアクション ● スーパープロデューサーが認定したもの	国内外から注目度が高いプロジェクト発表の場として、国際イノベーション会議が評価される <u>定量的指標</u> ① 海外関係からの参加者数 100人程度 [100、100] ② メディアでの掲載数 前回、前々回を上回る10件以上 <u>定性的指標</u> ● メディアによる評価内容 ● YouTube、Facebookの情報発信効果
	目標設定の考え方	平成26年度の実績を勘案して設定している	平成26年度の実績を勘案して設定している	25年～27年度の3ケ年で、プロジェクト創出支援100件を目標としており、1年目は20件、2年目は30件としている	時機にあったテーマ設定や効果的な情報発信を行うことで、少なくとも昨年度並みの成果を設定している
	実績	<u>定量的指標</u> （開設からの累計） ① 138,937 [67,527、118,436] ② 3,909 [2,125、3,447] ③ 9,013 [3,977、7,393] <u>定性的指標</u> ● WEBメディア掲載 19回 [18、27] ● 新聞・雑誌掲載 6回 [22、14] ● テレビ放映 3回 [2、12] 複数のWebメディアから「大阪は独自のイノベーションエコシステムを確立しつつあり、東京にも引けをとらない素晴らしいアントレプレナーが多数いる。」との評価を得ている。	<u>定量的指標</u> ① 515人（プレイヤー385人、パートナー130人） [268、446] ② 13,578人 [6,487、9,076] <u>定性的指標</u> 関係先とネットワーク構築 ● Osaka Hackers Clubを活用して企業、大学、VC等のネットワークを広げるとともに、活動スペース「Innovation Base」を新設して会員のプロジェクト創出を促進している。 ● 今年度は、新たに英国ロンドン市、イスラエルの支援機関、ムスリムのコミュニティ等が参画するハッカソン、セミナーなどを開催し、海外の連携先を拡大させた。	<u>定量的指標</u> ビジネスプランコンテストや、プログラムでの成果発表等を通じて形成されたチームの状況の把握に努めている。 ① 年度末に集計 [22、40]	<u>定量的指標</u> ① 2/17に開催 [69人/307人で22.5%、99人/515人で19.2%] ② 2/17に開催 [9、8件] <u>定性的指標</u> ・Ustream視聴者数：終了後集計 [2,106、245] ・Facebook投稿：終了後集計 [76、106] ・Facebookいいね：終了後集計 [369、499]他
自己評価	● 情報発信数は目標を上回っているものの、過去実績比では低調。FB発信数を適正化したことや、DMによらずに集客ができるようになってきたことなどが要因。 ● FB発信の適正化と平行し、英語によるイベントレポートや起業家紹介を開始。充実を急ぎたい。 ● アウトカムも過去比で増加が鈍化している。一定層のユーザーには浸透しつつあると考えているが、様々な機会を通じて新規開拓に取り組む。 ● WEBメディアを中心に活動が認知され、好評価も得ていることは良い傾向。	● 外部団体との共催イベントの誘致に成功しておりイベント参加者数も昨年度比で順調にのびている。 ● 大阪ハッカーズクラブも引き続き順調に増加している。 ● イベントに参加した人材を結合させ新事業の創出につなげる取り組みとして、主催・共催を問わず、イベントの前に拠点の設置趣旨や活動概要を紹介しているが、成功事例の紹介による参加者の起業マインドの醸成に注力し、イノベーション創出に参画する人材の拡大を図っていきたい。	● 今年度は、KDDI∞LaboやTech in Asiaなどの外部の著名な機関との連携によるピッチイベントを開催。 ● 大手の金融機関やメーカーとのオープンイノベーションイベントの開催も順調。 ● 上記には関西圏外の大手側からの企画もあり、拠点の知名度とオープンイノベーション志向双方の高まりと外部資源活用進展の現象として評価している。 ● 成功起業家がメンターとして参画するアクセラレーションプログラムや学生の起業家教育プログラムを新たに実施する他、プレイヤーの活動を支援する「Innovation Base」を拠点に設置するなど、プロジェクト創出環境も充実してきている。	● 国際イノベーション会議は、平成28年2月17日(水)にコングレコンベンションセンターで開催予定。 ● テーマ：(仮)さらなるイノベーション創出に向けて ● キーノート：調整中 グローバルチャレンジャーズトーク「(仮)世界に向けた私の挑戦」 パネルセッション「(仮)欧米に学ぶオリジナルな地域イノベーションシステムの育て方」他 ● インターナショナルピッチコンテスト：登壇者募集中 ● サブ会場でスタートアップショーケース開催	